

「道内の木材需給の見通し」の取扱いについて

1 掲載内容

○1枚目に全道の木材需給の見通し情報、2枚目に地区別の木材需給の見通し情報を掲載しています。調査結果の詳細については、次のホームページをご覧ください。

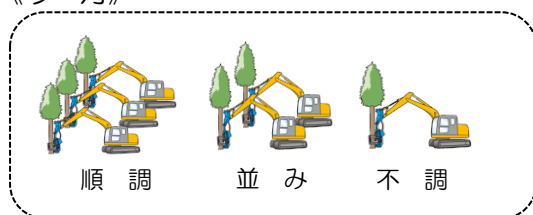
- ・素材生産動向について 北海道森林管理局ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hanbai1/sozaiseisandoukou/>
- ・原木在庫・製品荷動きについて 北海道ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/research.htm>

2 見通しの表現方法

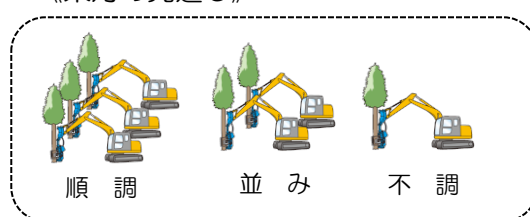
○素材生産動向や原木在庫、製品荷動きの見通しは、林業事業者や製材工場等が「今月（現四半期）」と「来月（次の四半期以降）」について「こう感じる、こう考える」という判断を「順調（前年を上回る）」、「並み（前年並み）」、「不調（前年を下回る）」の3段階のイラストで表示しています。

【素材生産動向】

《今 月》

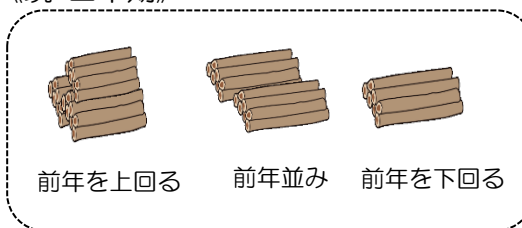


《来月の見通し》

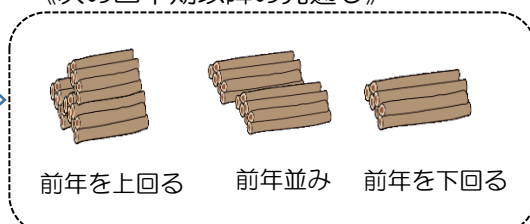


【原木在庫】

《現 四半期》

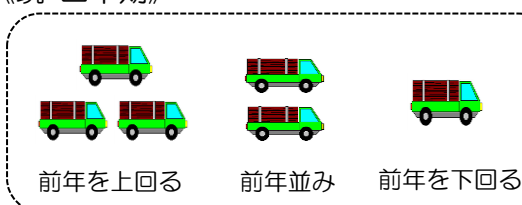


《次の四半期以降の見通し》



【製品荷動き】

《現 四半期》



《次の四半期以降の見通し》



3 DIの算出方法について

○原木在庫状況の指数について

（「多い」と回答した企業の比率（%））－（「少ない」と回答した企業の比率（%））

原木在庫が「多くなる」と答えた工場が多いと＋（プラス）の指数が大きくなり、「少なくなる」と答えた工場が多いと－（マイナス）の指数が大きくなります。

○素材生産動向と製品荷動き状況の指数について

（「良い（順調）」と回答した企業の比率（%））－（「悪い（不調）」と回答した企業の比率（%））

製品荷動きが「良くなる」と答えた工場が多いと＋（プラス）の指数が大きくなり、「悪くなる」と答えた工場が多いと－（マイナス）の指数が大きくなります。

（例）製品荷動きへの回答

前年同時期より「良い」と答えた工場	= 12%
前年同時期と「変わらない」と答えた工場	= 48%
前年同時期より「悪い」と答えた工場	= 40%
合 計	100%

良い（12%）－悪い（40%）
 ＝－28

よって指数は －28